

主要産地における平成26年産水稻の生育状況等について 第5報 (7月1日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成26年7月2日)

道府県	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等
		平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	(全道) 6月前半は気温が高く推移し、生育も順調に進んだ。6月初めまでは水不足の地域があったが、後に全道的に解消した。 (北海道農政部 6月15日現在) (空知) 6月上旬の高温多湿により、分けつが良好で生育は進んでいる。(空知総合振興局 6月15日現在) (石狩) 生育は順調に進んでいる。(石狩総合振興局 6月15日現在) (後志) 平年より2日早く生育している。(後志総合振興局 6月15日現在) (胆振) 好天により、生育はやや早い。(胆振総合振興局 6月15日現在) (日高) 生育はやや早く推移している。(日高総合振興局 6月15日現在) (渡島) 生育は平年よりやや早く推移。(渡島総合振興局 6月15日現在) (増毛) 生育は順調であるが、日照不足の影響が見られる。(増毛総合振興局 6月15日現在) (上川) 生育は、平年より早く推移している。(上川総合振興局 6月15日現在) (留萌) 好天により分けつが進み生育は旺盛。(留萌振興局 6月15日現在) (オホーツク) 生育は平年並み。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)	・6月のヒメトビウカの発生量は平年並、イトドロイムシの発生量はやや少、フタバコヤガの発生量は平年並の予報 (北海道病虫害防除所 5月30日公表)
青森	生育	・生育は、概ね平年並から上回った。(6月20日現在) (青森県 6月24日付) ・つがるロマン(黒石) 草丈は平年より0.7cm長く、m当たり莖数は平年より33本多く、葉数は7.7葉で平年並み。(6月20日現在) ・まっしぐら(十和田) 草丈は平年より4.0cm長く、m当たり莖数は平年より61本少なく、葉数は平年より0.1葉少ない。(6月20日現在) (青森県果菜技術センター-農林総合研究所 6月20日付)	・イネミズゾウムシの発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・斑点カメムシ類が平年より早く見られている。(青森県病虫害防除所 6月27日公表) ・6月のイネミズゾウムシの発生量はやや少ない、イトドロイムシの発生量は平年並の予報 (青森県病虫害防除所 5月30日公表)
岩手	(生育)	・県全体では、草丈(平年より3.8cm長い)、莖数(平年比122%)、葉数(平年より0.3葉多い)といずれも平年を上回っており、生育は平年より2日程度進んでいる。葉色は北部で濃いのが、北部以外の地域では概ね平年並。 (岩手県 岩手県中央農業改良普及センター-環境普及グループ 6月25日現在) ・北土(農業研究センター)では、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」とも、前回調査同様に草丈、葉数、莖数は平年を上回っており、分けつ(発生)は現在も続いている。葉色は平年より濃い状況。 ・綾米(東北農業研究所)の「いわてっこ」も、前回調査同様、平年より草丈は長く、葉数は多く、莖数とも上回り有効莖数を十分に確保している。葉色は平年より濃い状況。(岩手県農業研究センター 6月25日現在)	・イネミズゾウムシの発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・いもち病がやや多い予報。斑点カメムシ類は平年並の予報。(岩手県病虫害防除所 6月30日付) ・6月4日～10日の調査では、補給用取留圃にいもち病が平年より多く発生。発病に好適な条件が続いている。(岩手県病虫害防除所 6月11日付)
宮城	(生育)	(県全体) 気温が平年より高く推移していることから、水稻の生育は、平年に比べて3～4日早まっている。(宮城県 6月20日現在) (大河原) 6月中旬に高温で推移したことから平年をやや上回っている。平年と比較すると草丈はやや長め、莖数はほぼ平年並み、葉数(生育の早晩)はやや早め。(大河原農業改良普及センター 6月20日現在) (亶理) 全ての調査項目で前年を上回っている。平年と比べて草丈・葉数ともに多め、葉の進展は順調。葉色の上昇も早く、土壌窒素の発現も早い傾向に。 (亶理農業改良普及センター 6月10日現在) (仙台) 「ひとめぼれ」、「ササニシキ」とも、草丈、葉数、葉数が平年を上回る生育状況(仙台農業改良普及センター 6月10日現在) (大崎) 5月の高温・多湿により生育はすこぶる良好。平年と比べて草丈約20%増加、葉数約30%増加、平坦地帯で約10日、丘陵地帯で2日進んでいる。直播も生育は順調で、平年に比べて2～3日進んでいる。(大崎農業改良普及センター 6月20日現在) (美里) 平年より3～4日程度生育が早く、葉数が多くなっている。(美里農業改良普及センター 6月20日現在) (栗原) 6月上旬半まで気温が高く推移し、平年より生育量が多い。草丈は平年より長く、葉数は平年より多い。葉数は平年並からやや多く、葉色は平年より濃い。(栗原農業改良普及センター 6月20日現在) (登米) 生育進捗については、草丈は平年より長め、葉数は多め、葉数はやや少なめ、葉色はやや濃い傾向。活着の良好だったほ場では必要葉数を確保してきている。(登米農業改良普及センター 6月20日現在) (石巻) 平年より葉数が多く、草丈が長い傾向が見られ、葉数は平均で平年より0.7枚多く、日数に換算して4日程度平年より進んでいる。葉数・葉色とも、平均で平年並。(石巻農業改良普及センター 6月20日現在) (本吉) 生育進捗は概ねよければつぎは葉色が、6月中旬の高温により、頂上葉の差は小さくなっている。気仙沼市(ひとめぼれ)では草丈は平年並、葉数は平年並、葉数はやや少ない。稲巻陸前(ササニシキ)では草丈はやや長く、葉数は少なく、葉数はやや少ない。(本吉農業改良普及センター 6月23日現在)	・イネミズゾウムシの発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・7月の葉いもち、紋枯病の発生量はやや多く、斑点カメムシ類の発生量はやや多い予報 (宮城県病虫害防除所 6月23日公表) ・葉いもちの発生量は平年並、イトドロイムシの発生量は平年並の予報 (宮城県病虫害防除所 6月9日公表) ・イネミズゾウムシの発生量はやや多 (宮城県病虫害防除所 5月26日公表)
秋田	(生育)	(鹿角) 平年より草丈はやや長く、葉数はやや多く、葉数は0.5葉程度進んでおり、葉色もやや濃い。(6月25日現在) (北秋田) あきたこまちの9地点平均値は、平年に比べて草丈は長く、葉数は少なく、葉数は平年並、葉色はやや濃い。(6月25日現在) (山本) 平年と比べて草丈はやや長く、葉数はやや多い、葉数は平年並、葉色はやや濃い。(6月25日現在) (秋田) あきたこまちの生育は、草丈は平年比11%、葉数は109%、葉数は平年並+0.3枚(6月25日現在) (由利) 草丈は平年比102%、葉数は12%、葉数は平年並-0.3葉、葉数はおおむね正常範囲であり、生育は順調。(6月25日現在) (仙北) 草丈は平年比106%、葉数は112%、葉数は-0.2葉、葉色100%。気温が高く日照も多い影響で、目標葉数は確保。(6月25日現在) (平鹿) 水稻の生育は草丈、葉数、葉数とも順調に推移している。(6月20日付) (雄勝) あきたこまちの8地点平均値は、草丈平年比103%、葉数100%、葉数平年並+0.1、葉色99%で、おおむね平年並の生育。(6月25日現在) (秋田県農林政策課 6月30日)	・イネミズゾウムシの発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・7月の葉いもち、紋枯病の発生量は平年並、斑点カメムシ類の発生量はやや多い予報 (秋田県病虫害防除所 6月26日付)
山形	(生育)	・6月20日現在の生育は、莖数過剰傾向で、生育進捗は依然として平年より早い状況。 平田町「はえぬき」の生育は、草丈、葉色は平年並みで、葉数は多い旺盛な生育状況。 「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈は平年並み、葉数は多く、葉数はやや多く、葉色は平年並みの順調な生育概況。 (山形の米日本一推進運動本部 6月20日付) (庄内) 葉色は平年並、莖数は平年比111～117%と多く、草丈も長くなっている。平田部ですでに9葉目が展開中で、平年より米生育が2～3日程度進んでいる。(庄内総合支庁 6月20日現在) (村山) 「つや姫」の葉数は目標を確保し、やや多いところもある。草丈は短く、葉数と葉色はほぼ目標並。 (村山総合支庁 6月30日) (置賜) 草丈は平年並～やや長い、葉数は多い、葉数は平年より3日程度早い、葉色は平年並～やや濃い状況。乾土効果の影響もあり、葉色が濃く、生育旺盛な草姿となっているほ場が多くみられる。(山形の米日本一推進運動本部 6月20日現在) (最上) 平田部で平年並～やや進んでおり、特に、葉数が平年より多く推移している。中山間部では平年よりやや遅れて推移。(最上総合支庁 6月20日現在) (酒田) つや姫の生育は平年を上回る状況で、過剰傾向。生育は平年より3～4日早い。(6月20日現在)	・イネミズゾウムシの発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・7月の発生量は、葉いもちと紋枯病は平年並、斑点カメムシ類はやや多い、コバネイナゴはやや少なく、フタバコヤガ(仔材)は平年並の予報 (山形県病虫害防除所 6月25日公表) ・6月の葉いもちとイトドロイムシの発生量は平年並、斑点カメムシ類の発生量はやや多い予報 (山形県病虫害防除所 5月28日公表)
福島	(生育)	田植作業は平年に比べ1日遅れたが活着は概ね良好で、本田での初期生育は分けつが発生、草丈の伸長、主理出葉ともに平年並から良好。直播栽培も出芽と苗立ちは良好。(福島県農林水産部 6月9日付)	・イネミズゾウムシの発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・斑点カメムシ類が平年より多く確認されている。(福島県病虫害防除所 6月30日付) ・6月の葉いもちとイトドロイムシの発生量は平年並、イトメハモグリバエとイネミズゾウムシの発生量はやや少ない予報 (福島県病虫害防除所 5月30日公表)
茨城	(生育)	(水戸市) 5月1日に移植した「あきたこまち」の生育は平年より2日遅く、「コンヒカリ」は平年より4日進んでいる。平年より草丈は長い～極長く、葉数は少なく、葉色はやや濃い。 5月1日に移植した「コンヒカリ」の生育は平年より3日進んでいる。平年に比べ草丈は極長い。葉数及び葉色は平年並(6月20日現在) (鉾田) 5月20日に移植した「あきたこまち」、「コンヒカリ」の生育は5日早い。平年に比べ、品種別の草丈は極めて長く、葉数は葉色は濃い。 5月1日に移植した「あきたこまち」の生育は5日早く、「コンヒカリ」は6日進んでいる。品種別の草丈は極めて長く、葉数は「あきたこまち」でやや少なく、「コンヒカリ」で並。葉色は品種間とも並。(6月18日現在) (県農業総合センター-農業研究所)	・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・ニカメイガの発生は、北関東の一部で「多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・ヒメトビウカ第二世代幼虫の発生がやや早い状況。(茨城県病虫害防除所 6月20日公表) ・6月のニカメイガの発生量はやや多い予報 (茨城県病虫害防除所 6月2日公表) ・本田でのイネミズゾウムシの生息数のピークは県南・県西地域では5月中旬～下旬、県北・県東・龍行地域では5月下旬～6月上旬と予測 (茨城県病虫害防除所 4月30日公表)
栃木	(生育)	・平年より葉数が多く草丈も長い。 ・県内全般に高温・多湿傾向であったことから、葉色はほぼ平年並であるが、草丈、葉数ともに前回調査(5月26日)より平年との差が大きくなり、生育診断値(葉色×葉数)は平年を上回っている。葉数から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。(栃木県農政課 6月11日付)	・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・ニカメイガの発生は、北関東の一部地域で「多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・6月末のイネ科雑草すくい取り調査結果では、アカスジカスミカメの発生が目立っている。(栃木県農業環境指導センター 7月1日公表) ・6月下旬～7月下旬のいもち病発生量、やや少ない、結実枯病(ヒメトビウカ類)の発生量は県南地域で多い予想 (栃木県農業環境指導センター 6月20日公表)
埼玉	(生育)	・強風による播き傷み等で分けつはやや少ないが、草丈は平年並、高温により葉色の進展は進んでいる。 5月上旬に移されたものは強風による播き傷みが見られるが、良気象により1日回復は早く、概ね順調な生育である。(埼玉県農林総合研究センター-水田農業研究所 6月1日現在)	・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予報 (農林水産省 6月19日公表) ・斑点カメムシ類の発生は、本田での被検数が平年より多く、斑点カメムシ類の発生が最多。(埼玉県病虫害防除所 6月30日付) ・イネミズゾウムシの本年の孵化産卵日(7月28日)と予報。(埼玉県病虫害防除所 6月18日付)

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、状況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

		生育状況等	
千葉	(生育)	<p>移植時期から続く高温傾向のため、生育の進みは早く、幼穂形成期は早生・中生品種は4日程度、また、晩生品種は4～7日程度早くなっている。草丈は並～やや高く、莖数はやや多めに推移している。 (千葉県農林水産部 6月25日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ結実結病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月のいもち病(葉いもち)、紋枯病の発生量は年並、イネドロオウムシの発生量はやや多、イネコロカメシの発生量は年並、ヒメトビウカの発生量はやや多、セジロウカノ発生量は年並、コバネイナゴの発生量は年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 6月11日公表)
新潟	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンヒカリ 県平均では指標値(理想的な生育めやす)に比べ、草丈は「並み」、莖数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。地域別には、草丈は上段で長く、葉色は新築田、新潟、長岡、十日町で濃い状況。 ・こいひきき 生育は、指標値に比べ草丈は「並み」、莖数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。葉数の進みは「やや遅い」状況。 (新潟県農林水産部 6月30日付) ・(新築田) コンヒカリの生育は、3～4日程度進んでいることから、指標値と同様の莖数で比較すると、生育量は草丈は並、莖数は多く、葉色は急激に低下してきている。(新築田農業改良普及センター 6月30日付) ・(新潟) 稲登場の生育は、指標値に比べ、草丈、葉、莖、葉数、やや遅い、葉色は、濃い。コンヒカリの出穂期は年並より2日程早い見込み。(新潟県農業普及指導センター 6月30日現在) ・(三条) 草丈、葉数、葉色は指標値並。莖数はやや多の生育となっている。出穂期は「年並前～1日程度」早まる見込み。 (三条農業普及指導センター 6月30日付) ・(岩船) 草丈、ほぼ並莖数、葉～多い葉数、やや遅い葉色、やや濃い。早生品種は、幼穂が確認され始めている。 (村上農業普及指導センター 6月30日現在) ・(新潟) 好天が続く。気温の日較差が大きく、日照時間も長かったことから、草丈の伸長は緩やかとなり、生育は全項目で指標値【並】。出穂期予想は、早生品種(こいひきき7月28日頃)、コンヒカリ(8月6日頃)ともに年並前みの予想。 (新潟県農業普及指導センター 6月30日現在) ・(巻) 「並～やや短」、葉数、「やや多」、葉色、「並～やや淡」、コンヒカリは、草丈「並～やや短」、葉色「並～やや淡色」傾向。出穂期は、2日程早まる予想。(巻農業普及指導センター 6月30日現在) ・(長岡) 生育は、指標値に比べ草丈は並、莖数はやや多、葉数は多、葉色はやや濃い。高温・多日照の影響により生育ステージは早まっている。コンヒカリの生育は、指標値に比べ草丈99%、葉数113%、葉数+0.9、葉色-2.0 (SPAD 値)である。 (長岡県農業普及指導センター 6月30日現在) ・(魚沼) コンヒカリの生育は、草丈は並～やや長く、莖数は並～やや少ない、葉令は並で、葉色は並～やや濃い。 (魚沼農業普及指導センター 6月19日現在) ・(南魚沼) コンヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は「やや短」、莖数は「多」、葉数は「並」、葉色は「やや淡」 (南魚沼農業普及指導センター 6月30日現在) ・(十日町) 平坦部、高標地ともに生育は順調。(十日町農業普及指導センター他 6月20日付) ・(柏崎) こいひききの生育は、草丈、葉数、葉色とも指標値並だが、莖数はやや多めで、コンヒカリの生育は、草丈は短く、莖数はやや多、葉数、葉色は指標値並。(柏崎農業普及指導センター 6月30日現在) ・(上越) 草丈と長い(112%)、葉数、多い(+0.7葉)、葉色、並(葉色値+0.9)。 (上越農業普及指導センター 6月30日現在) ・(糸魚川) 年並と比較すると、生育が滞りつつある。(糸魚川農業普及指導センター 6月19日現在) ・(佐渡) コンヒカリの生育は年並、草丈は並、莖数はやや多い、生育は並、葉色は並。(佐渡農業普及指導センター 6月30日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月26日に長岡市で葉いもちの初発生を確認。初発生期としては年並で、平均より2日程遅い(新潟県農林総合研究センター 6月22日公表) ・6月の葉いもちの発生量は少ない予報(新潟県農林総合研究センター 5月30日公表)
富山	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・(コンヒカリ) 年並に比べて、草丈はやや長く、莖数はやや多く、葉数、葉色は年並前みとなっている。幼穂形成期は、年並より1日程度早い7月12日頃と見込まれる。 ・(てんたか) 年並に比べて葉数が僅かであり、草丈は長く、莖数はやや少なく、葉色は年並前み。幼穂形成期は、年並より3日程遅い8月2日頃と見込まれる。 ・(てんこもり) 年並に比べて、草丈は長く、莖数、葉数、葉色は年並前みとなっている。幼穂形成期は、年並前みの7月17日頃と見込まれる。 ・直播の生育は、葉数は年並前みとなっており、草丈はやや短く、莖数はやや多くなっている。 (富山県農業技術センター 広域普及指導センター 6月17日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・水田及び畑地における斑状米カメムシ類の生息数が多く、斑点米被害の増加が懸念される(富山県農林水産総合技術センター 6月26日付) ・6月のいもち病(葉いもち)の発生量は年並～やや少ない、紋枯病の発生量はやや多い、斑点米カメムシ類の発生量は少ない予報 (富山県農林水産総合技術センター 6月2日公表)
石川	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は、ゆめみづほが近年より3～6日早い7月14～20日頃と予想される。 ・葉数は、コンヒカリが2日程度早い。加賀地域の生育の早い圃場で幼穂が確認された。 ・草丈は、コンヒカリが年並比で102%、ゆめみづほが年並比で104%。 ・葉数は、コンヒカリが年並比で95%、ゆめみづほが年並比で92%。 ・葉色は、コンヒカリは低下傾向で年並前みだが、一部で濃い圃場が見られる。 (農林総合研究センター 6月27日調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・7月前半のいもち病、紋枯病と斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予報 (石川県農林総合研究センター 6月26日付)
福井	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンヒカリは草丈は年並より短いが、莖数は年並を上回っている。特に直播は莖数過剰となっている。 ・ハナエテゼンの草丈は年並前み、莖数は前年より少ない傾向です。25日頃から幼穂形成期を迎えています。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月26日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 ・6月の葉いもち病の発生量は年並より少、紋枯病は年並、ニカメイガは年並より多、イネミズゾウムシ、イネノムシ、イネドロオウムシとイネヒメハマガリハエは年並より少の予報(福井県農業試験場 5月29日公表)
長野	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は年並より2～2日早いと推定している。向こう1ヶ月の気温は年並前みと予報されており、出穂は年並よりやや早まる事が予想される。平坦地で「赤たこま」も6月上旬に移植したほ場で、6月下旬より幼穂形成期を迎えることが予想される。 (松本農業改良普及センター 6月23日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬のイネミズゾウムシの被害度及び寄生虫数は年並より少なかった。また佐久地域の一部でイネドロオウムシの成虫を確認(長野県農林総合技術センター 6月2日付) ・気温の上昇とともに葉病・表層剥離の発生が徐々に目立つ (松本農業改良普及センター 5月26日付)
滋賀	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・生育はかなり旺盛で、年並よりやや早い。ただし、気温の変動が大きく、生育の進捗は日々変化している状況。 ・草丈は、「コンヒカリ」、「秋の詩」とも年並より長い。 ・葉数は「コンヒカリ」が年並より多く、「秋の詩」は年並よりかなり多い。 ・葉色は「コンヒカリ」、「秋の詩」とも年並。 ・葉数は、「コンヒカリ」は0.8枚、「秋の詩」は0.6枚年並より多かった。 ・「コンヒカリ」については、年並より5.0日程度生育が早いと見られる。 (滋賀県農業技術センター 6月20日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ結実結病とイネミズゾウムシの発生は、近畿の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・葉いもちと紋枯病の発生量は年並前み、イネコロカメシの発生量は少、コバネイナゴの発生量はやや少の予報 (滋賀県農林総合技術センター 6月17日公表) ・葉いもちの発生量はやや少、ニカメイガの発生量は年並、イネドロオウムシ、イネコロカメシの発生量はやや少、コバネイナゴの発生量は年並前みの予報 (滋賀県農林総合技術センター 6月3日公表)
兵庫	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> (県北) 本田での生育は順調 (県南) 苗の生育は順調 (兵庫県農政環境部長 6月2日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ結実結病とイネミズゾウムシの発生は、近畿の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・結実結病の発生が近年増加傾向。西播磨地域ではヒメトビウカ(保害虫)の被害率が高い(兵庫県農林総合技術センター 7月1日公表) ・向こう1か月は、いもち病(葉いもち)、結実結病、ヒメトビウカはやや多、海老病(葉いもち)は年並の予報 (兵庫県農林総合技術センター 6月18日公表)
岡山	(生育)		<ul style="list-style-type: none"> ・イネ結実結病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日) ・6月の葉いもちの発生量はやや少、ヒメトビウカ発生量は少、結実結病の発生量は年並、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は年並の予報 (岡山県 6月5日公表)
広島	(生育)		<ul style="list-style-type: none"> ・イネ結実結病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・県内の一部地域で置き苗に葉いもちの発生が確認されている。いもち病が発生しやすい条件となっている。県南部と県中西部において、いもち病感染好適日(過去10年間で最も高い頻度)で出現(広島県農林総合技術指導所 6月27日公表)
山口	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 6月中旬の降水量及び日照時間は年並より少ない状況で、気温は低めに推移した。 ・コンヒカリ、ひとめぼれの生育は年並 ・きぬむすめの生育はやや遅い ・ヒノヒカリの生育は年並 (山門大津、長門農林事務所 6月20日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ結実結病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月の結実結病(ヒメトビウカ)の発生量は年並の予報 (山口県農林総合技術センター 6月2日公表) ・5月のイネミズゾウムシの発生量は年並の予報 (山口県農林総合技術センター 5月1日公表)
愛媛	(田植)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は普通期水稲の田植えの開始時期 ・高温急熱障害を回避するには、極端な早植えを避け、中生品種では6月15日以降の田植えに努める。 (愛媛県農林水産部/農林水産研究所 6月2日公表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月のいもち病(葉いもち)発生量は年並、ヒメトビウカの発生量はやや少～並の予報(愛媛県農林総合技術センター 5月27日公表)
高知	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> (南国そだち 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は年並よりやや高く、葉数はほぼ年並、葉齢(生育速度)は年並よりやや早い。 (早稲こしこし 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は年並前み、葉数は少なく、葉齢もわずかに遅れている。葉数が少ないのは、移植直後4月上旬および5月上旬の低温の影響によるもの。 (標準稲こしこし 4月14日移植) 低温の影響で一時的生育は遅れていたが、その後回復し6月3日調査時の草丈は年並より高く、葉数、葉齢は年並前みに推移。 (高知県農業技術センター 6月20日付) 	<ul style="list-style-type: none"> (早期水稲) いもち病の発生量は少～やや少、ツマグロヨコバイ、セジロウカ、ヒメトビウカの発生量は少の予報(普通水稲) いもち病の発生量は少～やや少、イネミズゾウムシの発生量は少、ツマグロヨコバイ、セジロウカ、ヒメトビウカの発生量は少の予報 (高知県農林総合技術センター 6月3日公表)

生育状況等		
福岡	<p>朝倉普及指導センター管内（朝倉市、筑前町、東峰村）では5月1日～2日を中心に早期栽培つきの田植えを終了収穫は8月の益明けの見込（福岡県朝倉普及指導センター 5月12日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いもち病の発生は、北九州の一部地域で「やや多い」と予想 ・イネミズゾウムシの発生は、北九州の一部地域で「多い」と予想 （農林水産省 6月19日公表） ・6月21日に海外渡来性害虫（セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ）のうちセジロウンカの誘殺が見られた（福岡県病害虫防除所 6月26日公表）
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・7月の発生量予測 （早播水稲）強いもち病、カメシ類はやや少 （早播水稲）強いもち病は平年並 （普通播水稲）強いもち病は平年並 （早播普通水稲）セジロウンカはやや少 （熊本県病害虫防除所 5月27日公表）
宮崎	<p>現在の生育状況は、草丈が平年より短く、茎数は平年並み、葉齢は平年並みで、生育進度は平年並み（6月3日付）</p> <p>早期水稲5月29日現在の生育ステージ</p> <p>（県全体）活着期～分けつ前期で平年よりやや早 分けつ盛期～分けつ後期で平年並みの進度。草丈がやや低く、茎数は平年並みであり、順調に生育</p> <p>（中部地区）活着期～分けつ前期で平年より3日早く、移植後の生育は概ね順調 分けつ盛期～分けつ終期で平年並みの進度。草丈は平年より5cm程短く、茎数・葉齢は平年並み</p> <p>（南部珂地区）分けつ前期で平年並、4月上旬の強風で葉痛みが見られたものの、好天により生育は回復基調 分けつ盛期～分けつ終期で平年より2日遅い進度。草丈は平年より3cm程低く、茎数はやや多い</p> <p>（児湯地区）活着期～分けつ前期で平年より1日遅いが、3月中旬頃に移植した苗は順調に分けつし始め 3月下旬に移植した苗では4月上旬の強風の影響で生育がやや遅く、葉先の黄化も見られる</p> <p>分けつ盛期～分けつ終期で平年並みの進度。全体的に草丈が低い状況で、今後の天候で回復する見込み</p> <p>（東臼杵地区）活着期で平年並。4月上旬の強風による葉痛みにより生育はやや遅れる可能性があるが、今後天候で回復する見込み 分けつ期で平年より3日遅い進度。草丈は低く、茎数は少ない状況 （JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」6月3日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予想 （宮崎県病害虫防除 肥料検査センター 5月30日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期水稲のいもち病の発生量ははやや少、紋枯病の発生量は平年並の予想 （鹿児島県病害虫防除所 6月29日公表）

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標			収穫量（主食用） 25年産	作況指数 25年産
		平成26年産	前年産との比較	増減率		
		↑	↑	%		
全 国	<p>（7～9月の3か月間の見直し）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏西風は、8月までは平年の位置で強く、前線や低気圧の活動が活発となる見込みで、降水量は北日本で平年並か多い見込み。 ・7月の東・西日本では、降水量が平年並か多く、8月の西日本では、平年並か多い見込み。 ・9月は、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが強く西日本では、気温が平年並か低い見込み。 ・夏にはエルニーニョ現象が発生する可能性が大きいことと、フィリピン付近の対流活動が活発なことが考慮された予報となっている。 （気象庁 6月26日発表） ・夏には5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。（気象庁 6月10日発表） 					
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方の6月28日～7月27日の1か月間は、平均気温は平年並みが高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日が多いため、同1か月の気温は平年並か高い見込み。 （札幌管区気象台 6月26日発表） ・北海道地方では、7月5日頃からの一週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 （札幌管区気象台 6月30日発表） 	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105
青 森	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の6月28日～7月27日の1か月間は、前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多くなり、平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （仙台管区気象台 6月26日発表） 	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月26日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月26日発表）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月26日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100
山 形	同上（仙台管区気象台 6月26日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102
福 島	同上（仙台管区気象台 6月26日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> ・関東甲信地方の6月28日～7月27日の1か月間は、低気圧や前線の影響で、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、気温は平年並の見込み。 （気象庁 6月26日発表） 	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104
栃 木	同上（気象庁 6月26日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102
埼 玉	同上（気象庁 6月26日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98
千 葉	同上（気象庁 6月26日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地方の6月28日～7月27日の1か月間は、2週目以降は、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 平均気温は平年並みが高く、降水量も平年並みが多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （新潟地方気象台 6月26日発表） 	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103
富 山	同上（新潟地方気象台 6月26日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102
石 川	同上（新潟地方気象台 6月26日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101
福 井	同上（新潟地方気象台 6月26日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102
長 野	<ul style="list-style-type: none"> ・関東甲信地方の6月28日～7月27日の1か月間は、低気圧や前線の影響で、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、気温は平年並の見込み。 （気象庁 6月26日発表） 	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101

	気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	t	%	t	t	
滋賀	・近畿地方の6月28日～7月27日の1か月間は、梅雨前線や湿った気流の影響を受けやすいため、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、平均気温はほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月26日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月26日発表）					
岡山	・中国地方の6月28日～7月27日の1か月間は、前線や湿った気流の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。 平均気温は、1週目が平年並で、2～4週目はほぼ平年並みの見込み。 （広島地方気象台 6月26日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
広島	同上（広島地方気象台 6月26日発表）	160,190	▲ 5,850	▲ 3.5	163,800	97
山口	・九州北部地方（山口県含む）の6月28日～7月27日の1か月は、前線や湿った気流の影響で、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、平均気温は、1週目が平年並か低くなり、2～4週目は平年並みの見込み。 3～4週目は太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （福岡管区気象台 6月26日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
愛媛	・四国地方の6月28日～7月27日の1か月間は、期間の前半は、前線や湿った気流の影響が大きく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 6月26日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
高知	同上（高松地方気象台 6月26日発表）	74,490	▲ 1,690	▲ 2.2	74,900	99
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月28日～7月27日の1か月は、前線や湿った気流の影響で、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、平均気温は1週目が平年並か低くなり、2～4週目は平年並みの見込み。 3～4週目は太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （福岡管区気象台 6月26日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
熊本	同上（福岡管区気象台 6月26日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
宮崎	・九州南部地方の6月28日～7月27日の1か月は降水量が多く、期間の前半は平年に比べ曇りや雨の日が多くなり、日照時間の少ない状態が続く見込み。平均気温は、1週目は低く、2週目からほぼ平年並みになる見込み。 3～4週目は太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （鹿児島地方気象台 6月26日発表）	189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月26日発表）	94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
		111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

平成26年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成25年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩農業改良普及センター 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌総合振興局 6月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、病害虫発生予察情報第5号6月予報(北海道病害虫防除所)、
作況調査報告6月20日現在(青森県産業技術センター 農林総合研究所 6月20日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号6月予報(青森県病害虫防除所)、
水稲の生育状況(6.16調査結果概況速報)(岩手県中央農業改良普及センター 県域グループ 6月17日)、
農作物技術情報第4号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部、中央農業改良普及センター 県域普及グループ 6月26日)
平成26年度水稲生育定期調査結果No.3(6月25日)(岩手県農業研究センター 技術部作物研究所・県北農業研究所作物研究室 6月27日)、
平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所)、平成26年度病害虫防除速報No.4 水稲編-2(岩手県病害虫防除所)、
平成26年度産水稲の生育状況について 6月20日現在(宮城県農林水産部 6月20日)、平成26年度産稲作技術情報(第3号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月23日)、
平成26年度産稲作情報(第3号)(宮城県亘理農業改良普及センター 6月13日)、仙台稲作情報2014・06・11第5号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月11日)、
平成26年度産稲作技術情報第5号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月20日)、平成26年度産美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月30日)、
栗原の稲作通信平成26年第3号(宮城県栗原農業改良普及センター 宮城県米づくり推進栗原地方本部 6月24日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県登米農業改良普及センター 6月20日)、稲作情報Vol. 3(石巻農業改良普及センター 6月23日)、
稲作情報Vol. 3(本吉農業改良普及センター 6月23日)、平成26年度発生予察情報発生予報第5号(概要版)(宮城県病害虫防除所)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「まちなチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月30日)、
平成26年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所)
米づくり技術情報No3(山形の米日本一推進運動本部 6月20日)、つや姫たより第5号(山形県村山総合支庁 6月20日)、
おきたま米づくり情報No.7(山形の米日本一推進運動圏地域本部 6月20日)、稲作たより第7号(山形の米日本一推進運動最上総合支庁 6月23日)、
おいしい米づくり情報第7号(庄内総合支庁 6月25日)、酒田・飽海つや姫情報第5号(庄内総合支庁 6月24日)、平成26年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所)、
平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所)、
主要な農作物の生育状況平成26年度第3号(福島県農林水産部 6月9日)、水稲の病害虫防除対策(6月)(福島県病害虫防除所)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月20日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月20日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月18日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月19日)、
病害虫速報No.3(茨城県病害虫防除所)、病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会)、
那珂川湯水対策支部の解散について(国土交通省関東地方整備局)、
平成26年度水稲生育診断予測事業速報No.2(早期栽培6月9日調査結果)(栃木県農政部 6月11日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター)、平成26年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター)、
平成26年度水稲の生育概況Vol.1(平成26年6月1日現在)(埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所 6月9日)、
病害虫調査データ(埼玉県病害虫防除所 6月19日)、病害虫防除情報(埼玉県病害虫防除所 6月11日)、
水稲の生育状況と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月26日)、平成26年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター)、
水稲の生育状況と今後の管理対策第4号(新潟県農林水産部 7月2日)、6/10稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター他)、
岩船米生育速報(6月30日現在)(村上農業普及指導センター)、新発田地域水稲育成速報No.4(6月30日調査)(新発田農業普及指導センター 6月30日)、
新潟稲作速報No.4(新潟農業普及指導センター 6月30日)、水稲生育速報No.4(新潟農業普及指導センター 7月1日)、
水稲生育速報No.4(巻農業普及指導センター 7月1日)、FAX稲作速報(三条農業普及指導センター 6月30日)、
水稲生育速報(6月30日現在)(長岡農業普及指導センター)、管内の生育状況(6月19日現在)(魚沼農業普及指導センター 6月19日)、
稲作情報No.5水稲生育速報(6月30日現在)(南魚沼農業普及指導センター 6月30日)、稲作管理情報4(柏崎農業普及指導センター 7月1日)、
水稲生育速報・コンヒカリ(上越農業普及指導センター 6月30日)、水稲生育情報(糸魚川農業普及指導センター 6月20日)
平成26年度 稲作生育速報 No4(佐渡農業普及指導センター 7月1日)、平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所)、
TACS情報第5号・直播情報第4号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月28日)、
平成26年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-6号)(石川県農林総合研究センター 6月30日)、病害虫発生予報第2号(石川県)、
稲作情報No.8(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月27日)、平成26年度農作物病害虫発生予察情報第4号(福井県農業試験場)、
平成26年度作物技術普及情報第12号(長野県松本農業改良普及センター 6月26日)、5月下旬の水稲巡回調査結果の概要について(長野県病害虫防除所 6月2日)、
平成26年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、平成26年度病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所)、
平成26年度病害虫発生予察情報第2号(兵庫県病害虫防除所)、平成26年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月2日)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(岡山県)、
稲作ワンポイントアドバイス(No3)(J A 長門大津・長門農林事務所 6月20日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所)、
気象情報に基づく技術対策・作物(平成26年6月)(愛媛県 6月2日)今月の天候と農作業5月(愛媛県)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県)、
平成26年度産水稲生育状況(6/6時点)(高知県農業技術センター 6月20日)、平成26年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月3日)、
平成26年度病害虫発生予察情報第3号(6月)(高知県病害虫防除所)、
ネットラップ及び予察灯における海外飛来性害虫の誘殺状況(5月23日)(福岡県病害虫防除所)、普及指導センター情報(福岡県朝倉普及指導センター)、
管内JAニュース(JAグループ熊本ホームページ<http://www.ja-kumamoto.or.jp/>)、平成26年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所)、
平成26年度産宮崎県早期米産地情報(平成26年5月29日現在)(宮崎経済連ホームページ<http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html>)、
平成26年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター)、
平成26年度病害虫発生予報第3号(6月)(鹿児島県病害虫防除所)

エルニーニョ監視速報(No.261)(気象庁 地球環境・海洋部)

北海道地方ごう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方ごう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方ごう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方ごう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方ごう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方ごう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方ごう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方ごう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方ごう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)